

城南中学校へGo!

アジサイ
紫陽花隊 ~学校・家庭・地域が一つになる取り組み~

城南中学校では「確かな学び 心豊かに たくましく 明るく元気なわれらの城南中学校」を学校目標に掲げている。

約8年前、生徒指導面で厳しい状況があり、授業に入れない生徒もいて、地域の皆さんに迷惑をかけてしまうこともたくさんあった。そんな時、自転車鍵掛け運動に取り組む警察が苦戦していることを耳にし、

お互いの現状を打破するべく「学校・家庭・地域が一つになる取り組み」が必要だと、城南中学校区で青少年健全育成を目的に活動している団体と学校とでチームを組み「紫陽花隊」を結成した。

紫陽花隊では清掃活動やあいさつ運動、紫陽花の挿し木などさまざまな活動をしている。朝、大きな「おはようございます」の声とともに生徒たちが警察署前に集まってきた。舞鶴警察署員、民生児童委員などをはじめ紫陽花隊のたくさんの人が集まり、それぞれ目的地でのゴミ拾いと駅に駐輪してある鍵のかかっていない自転車へのタグの取り付け、歩行者へ交通安全の呼びかけを行った。2年生の永野聡一朗さんは「自分たちの手できれいにできて気持ちがよかった。大人と協力して自分たちのまちの役に立てたと感じてうれしかった。ずっと活動を続けていきたい」と生き生きとした笑顔で話してくれた。

地域の大人と生徒が一つになって活動することで、自然に協力することや思いやることを学ぶことができる。これからも家庭や地域と力を合わせ、地域に信頼される学校として活動を続けていく。



▲鍵のかかっていない自転車に注意タグを取り付け



▲警察署員と話す生徒たち

▲自分たちの手でまちをきれいに



舞鶴市立城南中学校

〒624-0823
舞鶴市字京田30番地
☎75-0137



▲舞鶴警察署の前には生徒たちが集まる

舞鶴市立白糸中学校

〒625-0036
舞鶴市字浜840 ☎62-3563



白糸中学校は、2012年に建物が新築されたため「きれい」と外観の印象が先にくるかもしれないが、川掃除をする毎年の活動があったり、新たに地域の皆さんと花植えをしたりと、古くから続く地域との関わりも大切にしている。

地域に流れる新川と祖母谷川の清掃を行う「新川・祖母谷川クリーン活動」。白糸地域の川にも魚が住めるようにと始まったこの活動は20年も続く伝統行事ならぬ伝統掃除だ。活動当初に比べるとゴミが少ない川に生まれ変わり、現在は部活動ごとに担当の掃除場所が割り当てられ、川に入ってゴミを探す。8月の猛暑での作業にも関わらず、どれだけたくさんのごみを集められるか競い合うなど、

楽しみながら地域貢献

楽しみながら行う生徒がたくさんいた。

また、今年度は、白糸中で毎月体操教室などを行うサロン団体と生徒会役員が協力して、学校内に配置するプランターに花を植える活動を始めた。団体の人と生徒の2~3人でプランターを囲み、会話をしながら花を植えていく。地元のあるあるネタや花の育て方などを話しながら行うとあっという間に終了した。参加した生徒会長の築谷みゆさんは「今回の花植えでは初めて話をする地域の人ばかりでしたが、この体験や地域の皆さんとのコミュニケーションはとても貴重で大事にしたいと思いました。この活動も川掃除のように続けていきたいです」と感想を話してくれた。

どちらの活動も地域の人と学校とをつなぐ橋のようなものではないだろうか。作業に楽しさを見出し地域の皆さんとコミュニケーションを取る生徒の皆さんなら、どんどん立派で丈夫な橋になってくれるだろう。



▲部活動ごとに担当の場所でゴミを拾う（新川）



▲奥の方からもゴミを発見



▲祖母谷川もくまなく掃除

白糸中学校へGo!



▶石碑の前にプランターを配置し肥料を入れる

▼自然と会話が生まれる作業

